

對小孩也別
手下留情！

☆貞宗一派逼近
忙於傳令的少逃黨！！

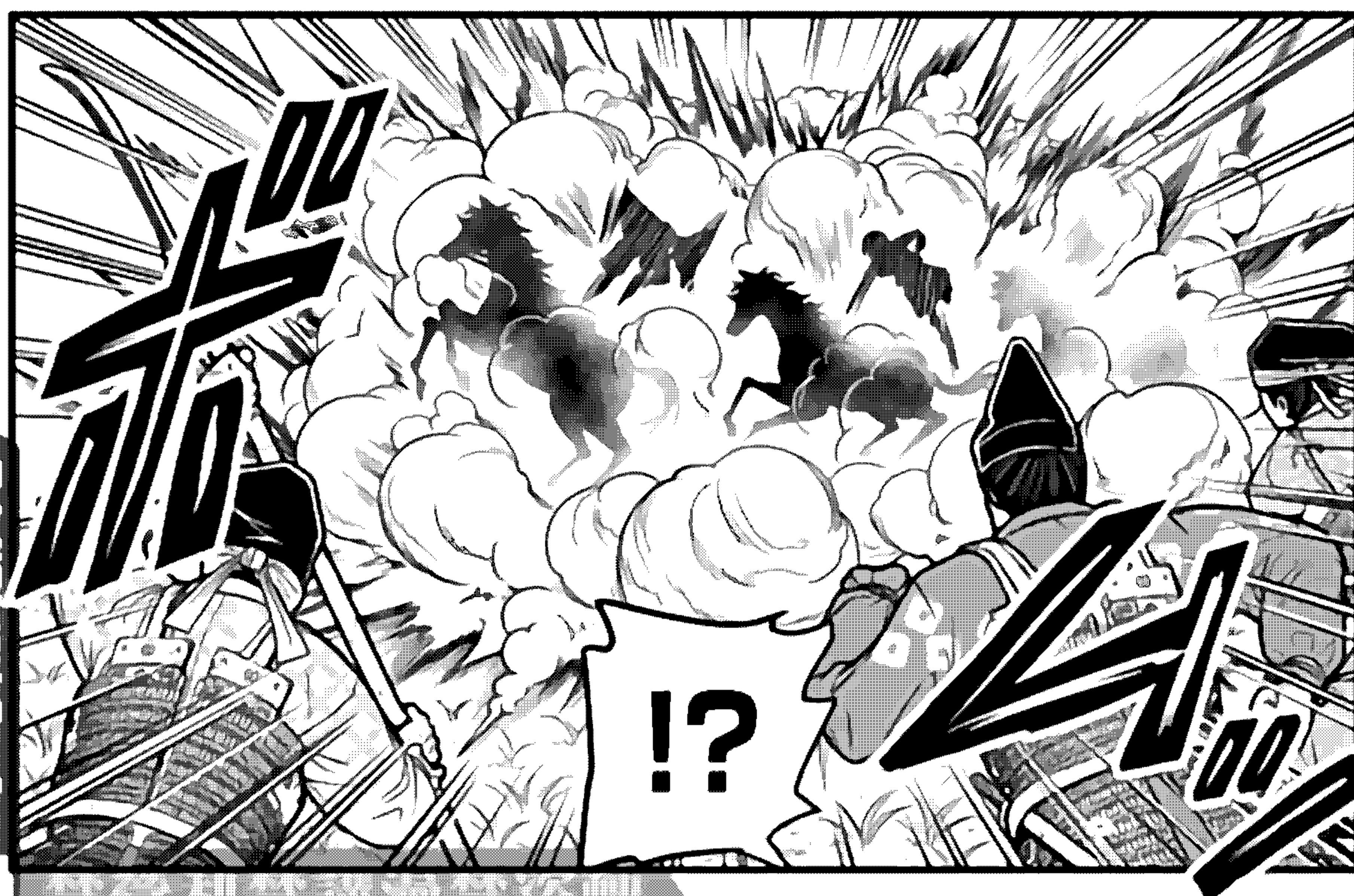
提刀上了戰場
便無男女
老幼之分！



缺胳膊斷腿
也無妨！

只要抓住了
能吐出情報！

「逃げ上手の若君」



!?



喂少爺
弧次郎！

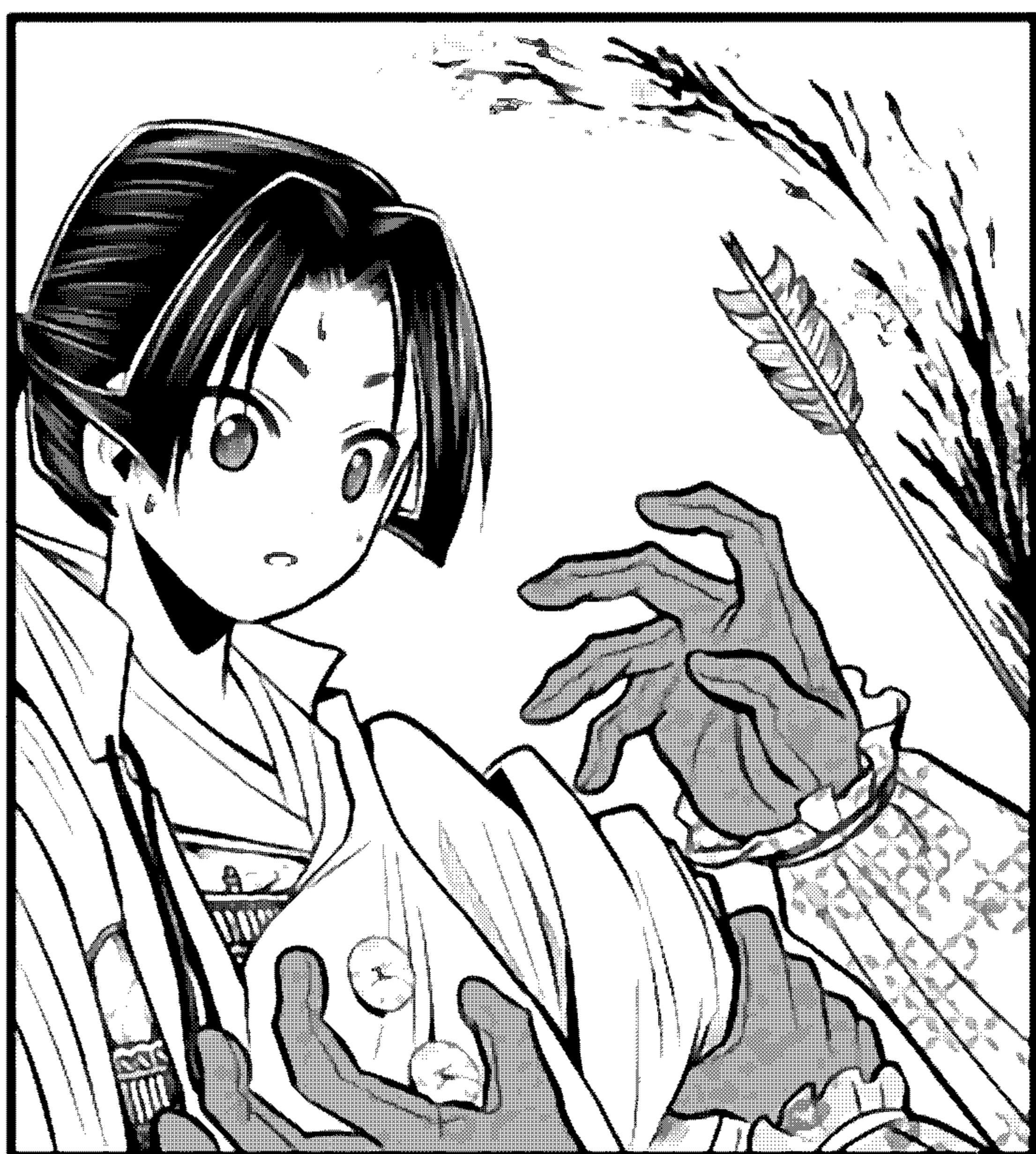
快下馬！



菱角
儲備糧 兼
「鐵疾藜」的始祖



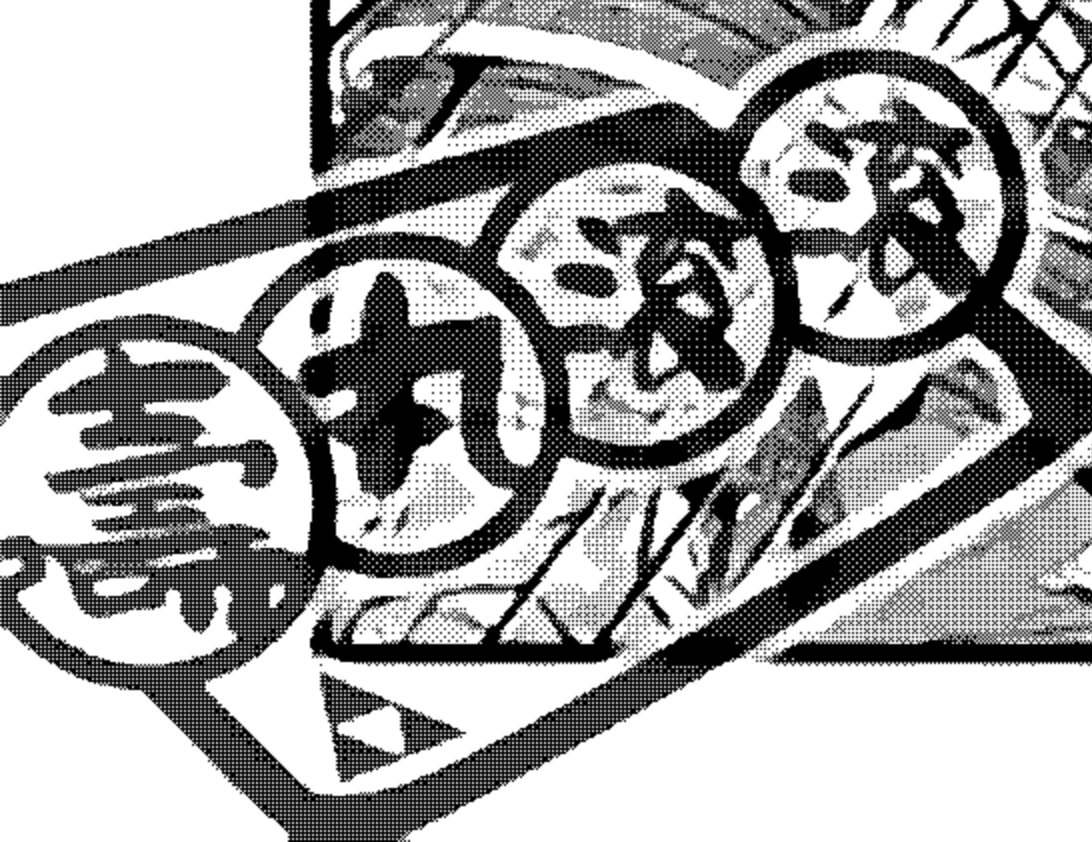


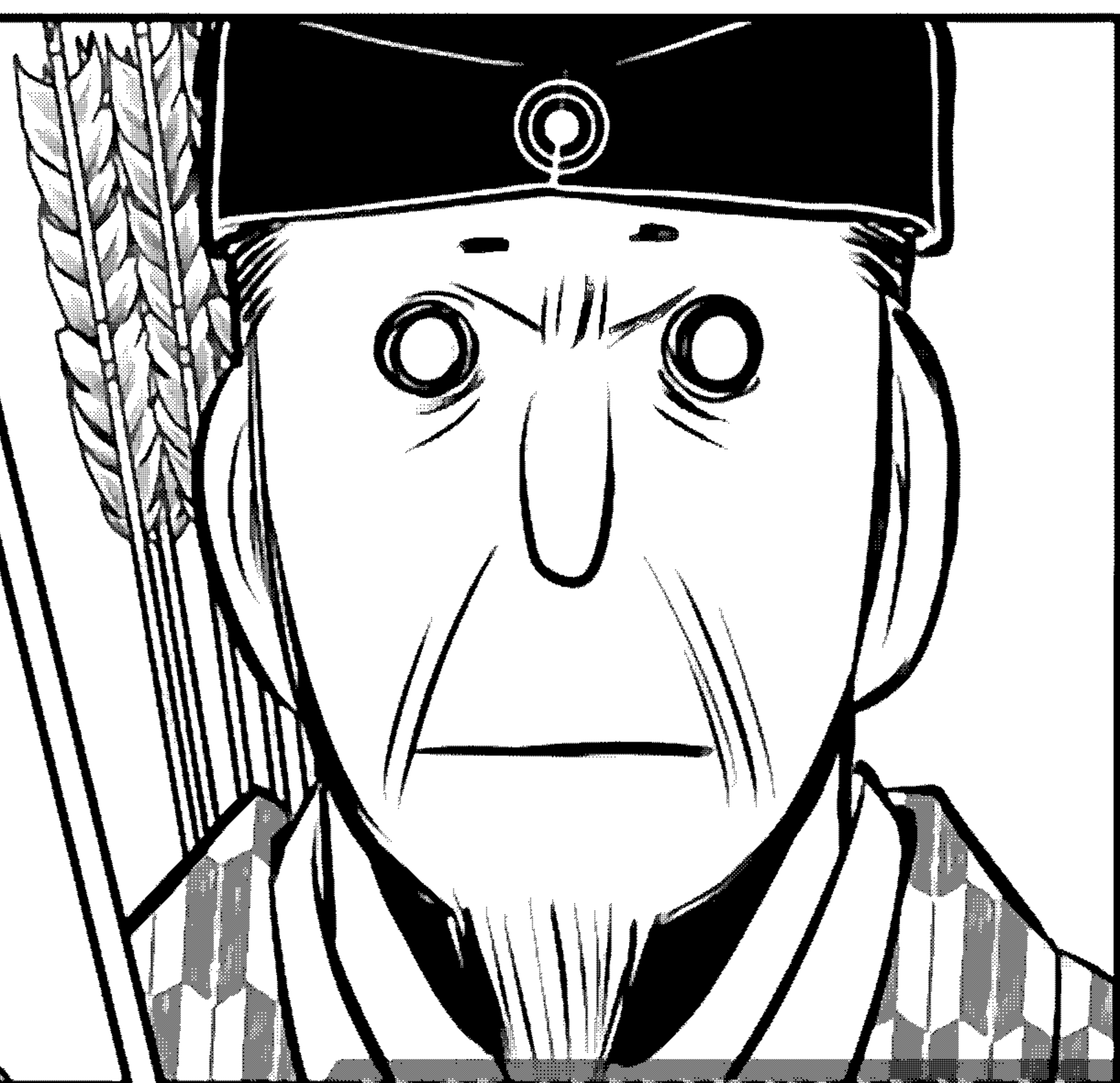
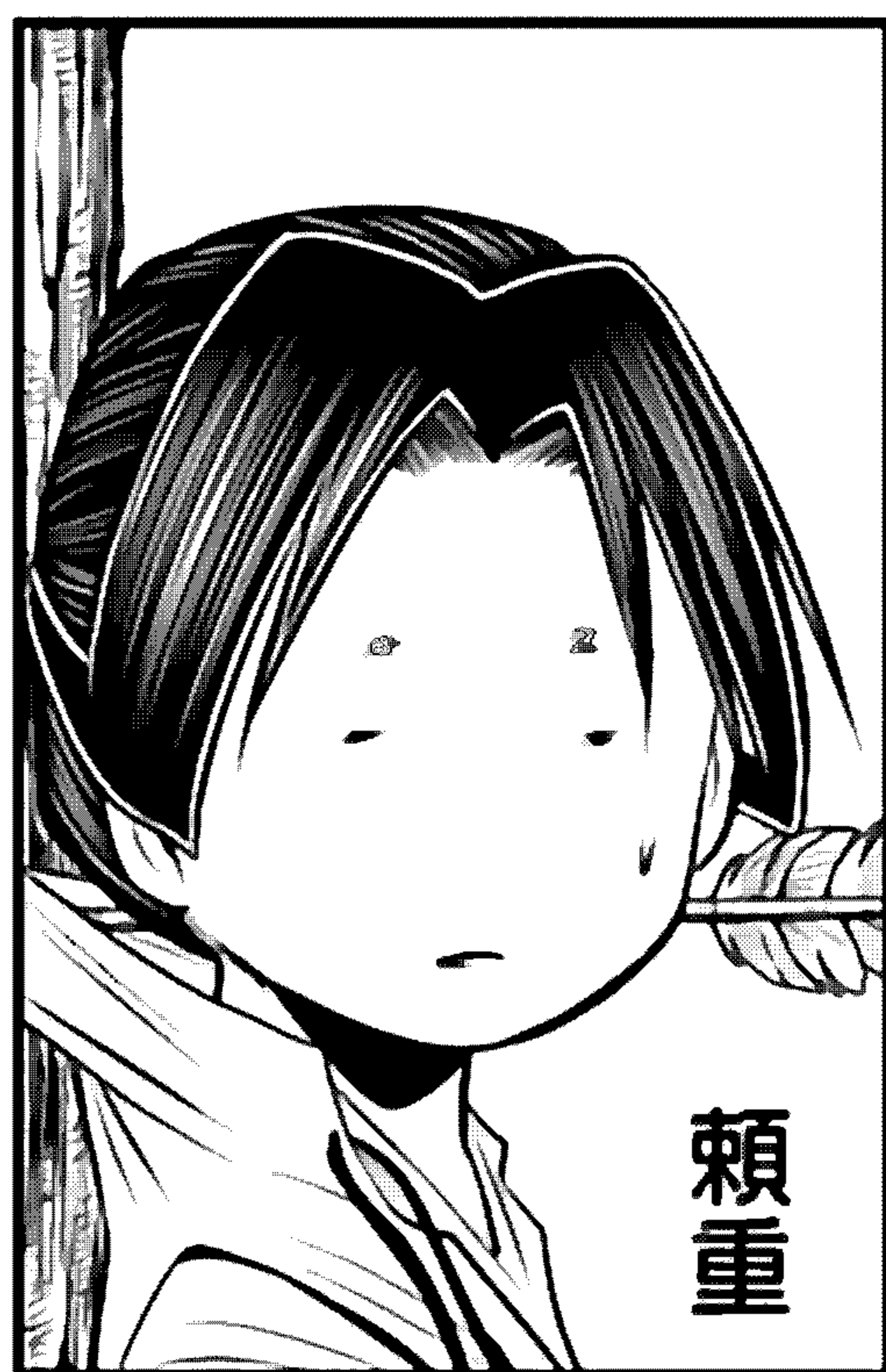


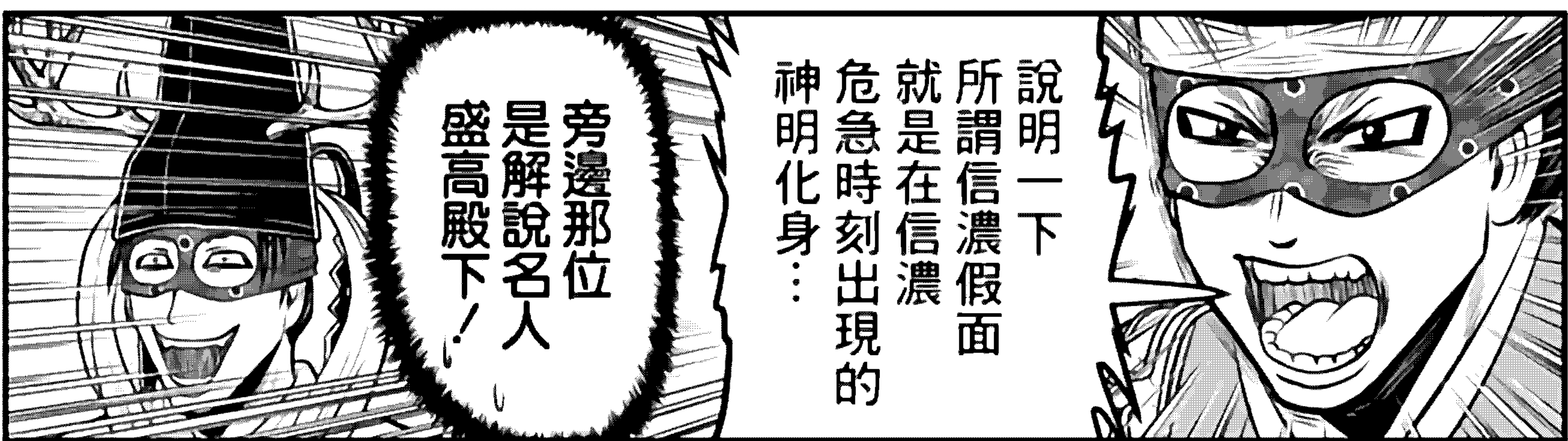
既然被問到身份
那我就不得不
回答你了

天網恢恢
疏而不漏！

萬象盡收眼底
全信濃的
守護神！







說明一下
所謂信濃假面
就是在信濃
危急時刻出現的
神明化身：

旁邊那位
是解說名人
盛高殿下！



怎……

怎麼看都是
諏訪賴重吧！

可疑程度
只增不減！

喊

你認錯人了
在下是
諏訪假面

自己都說是
諏訪了
別亂改設定！



既已生疑
就來
親自確認吧

想在這亂世
獲得證據
也只能逮捕
現行犯了

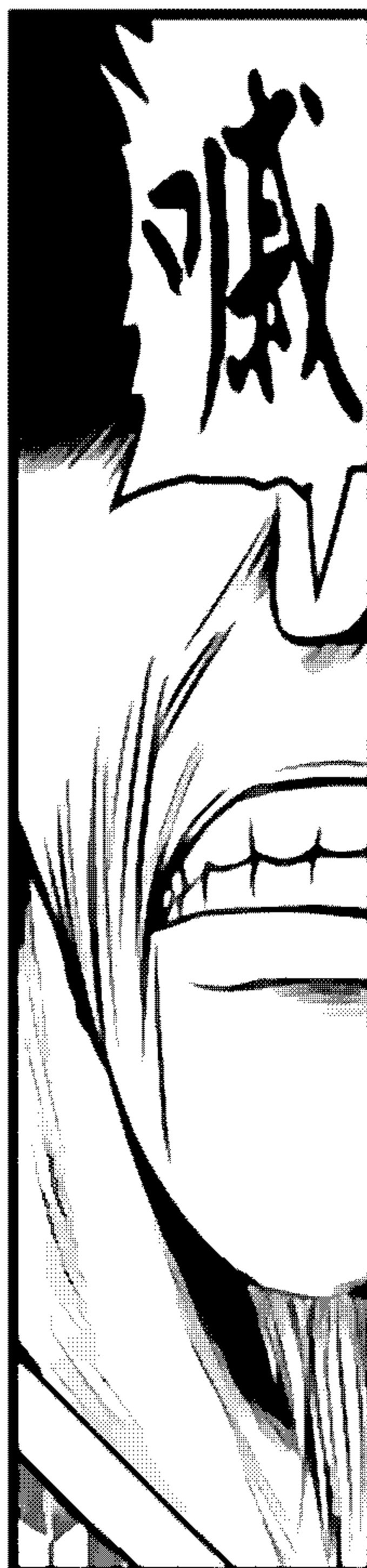
要試試
看嗎
貞宗殿下



貞宗大人！

撤退！

人數相差無幾
但我們地勢低
處下風！



喊



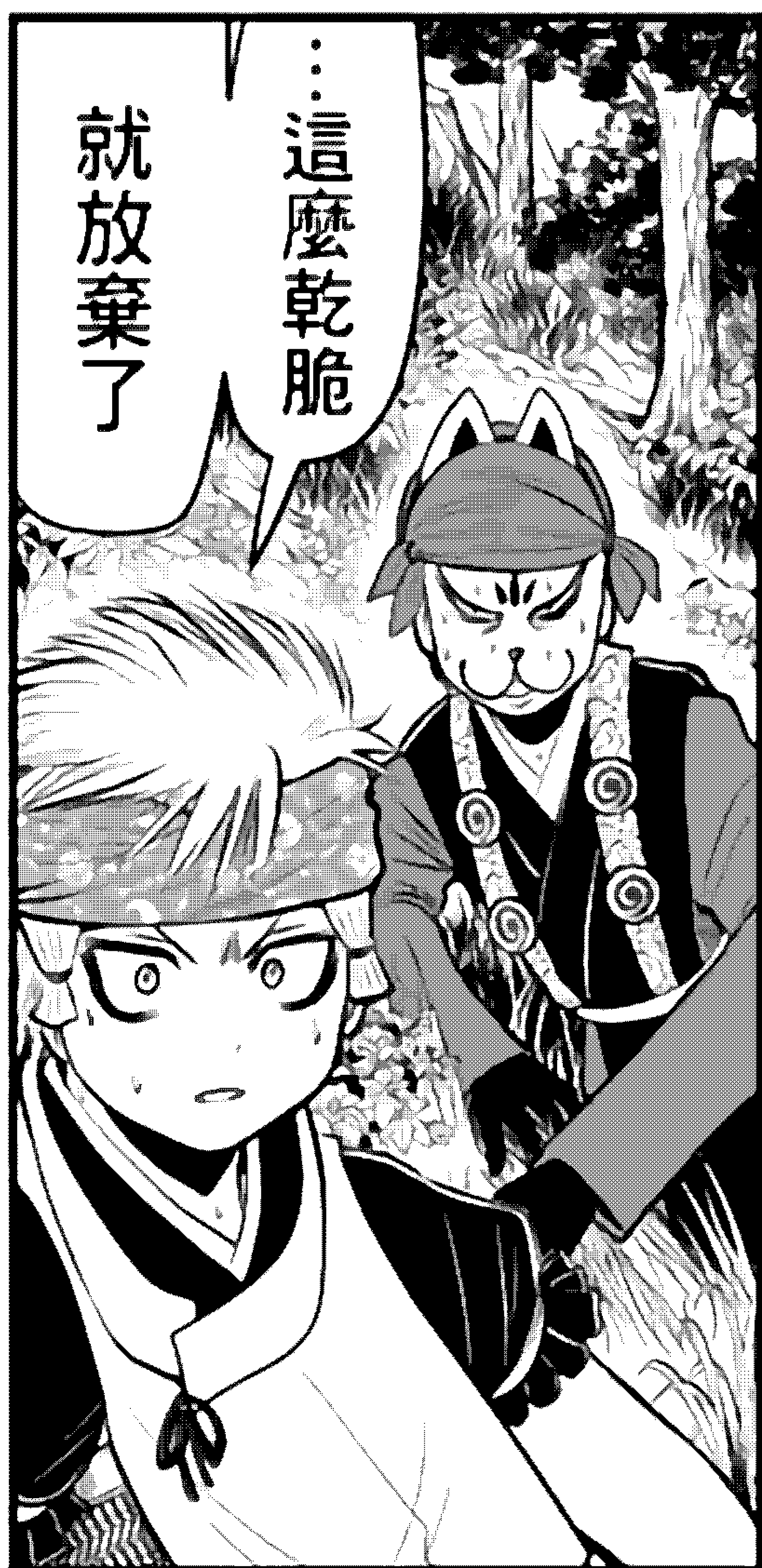
...？



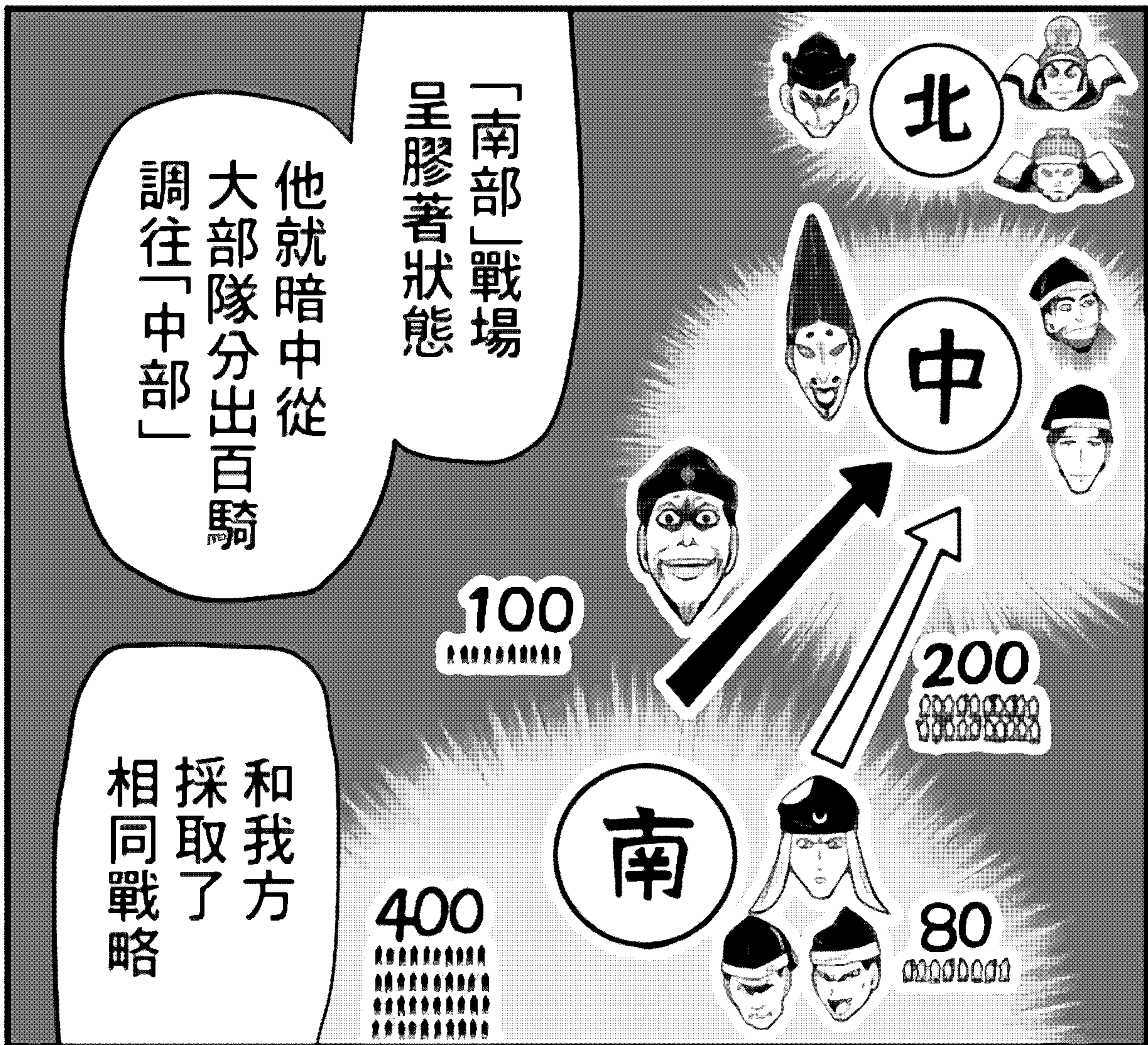
果然
往東邊撤了

不愧是
貞宗

在此部署百騎
是一石二鳥的
策略



這麼乾脆
就放棄了



我突然預見
您被抓捕的未來
雖然成功趕來
救場：

但這樣下去
非常危險

您已經盡力了
時行大人

傳令就交給
其他人
您先回去吧

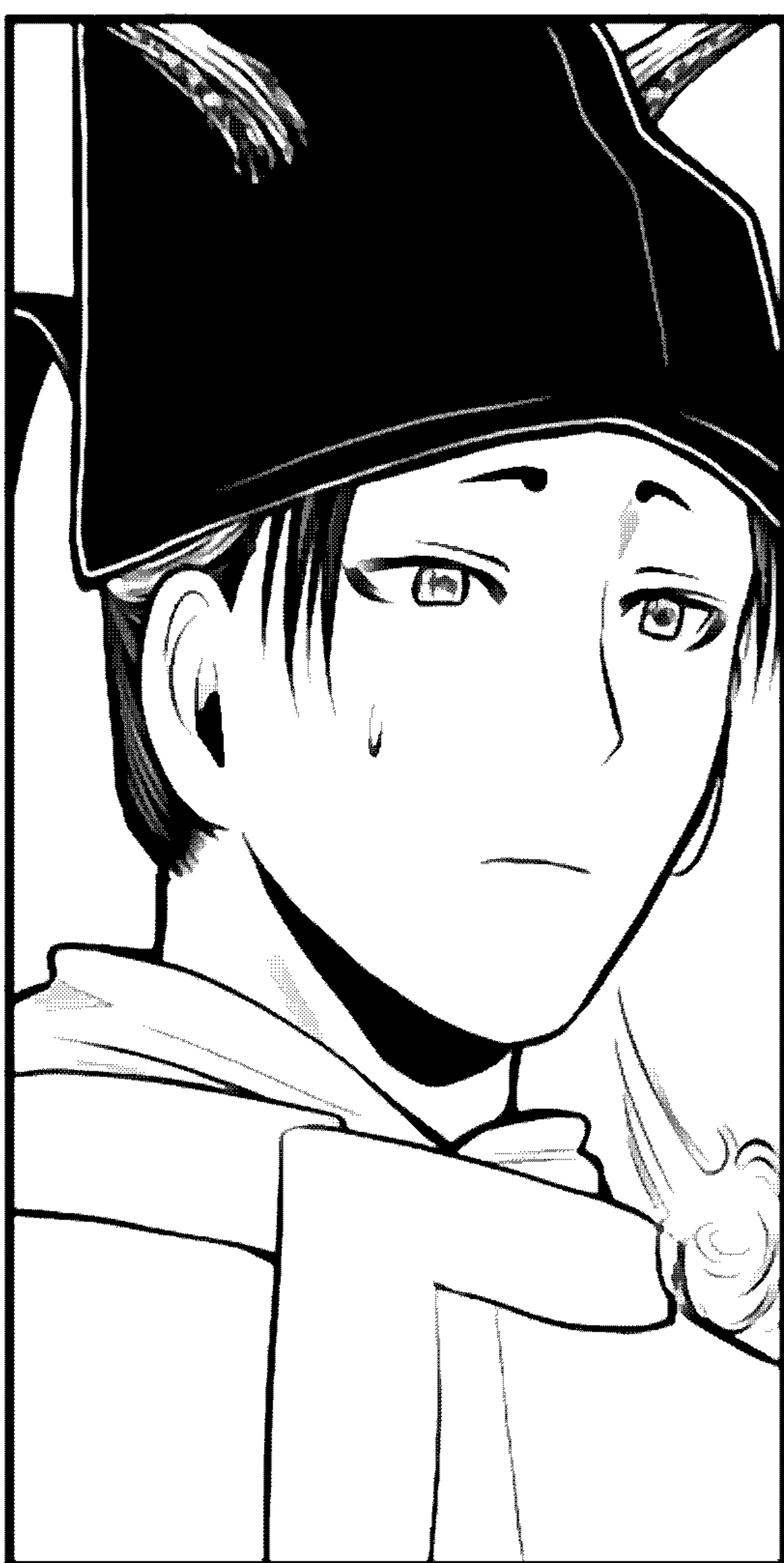
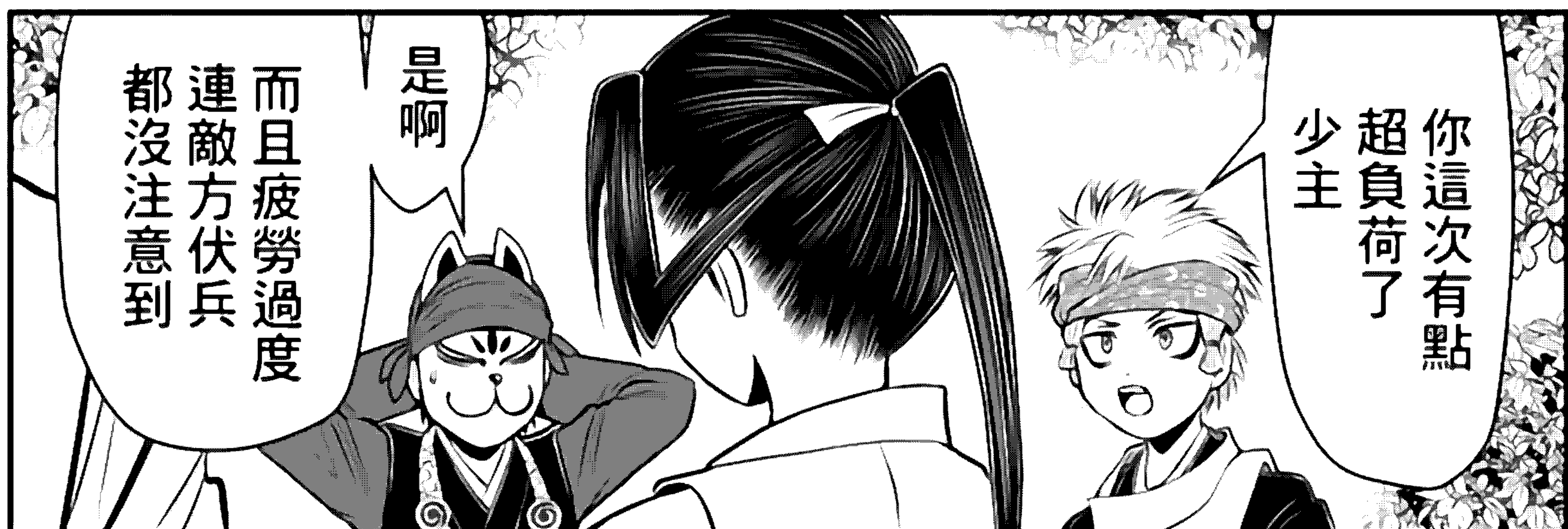
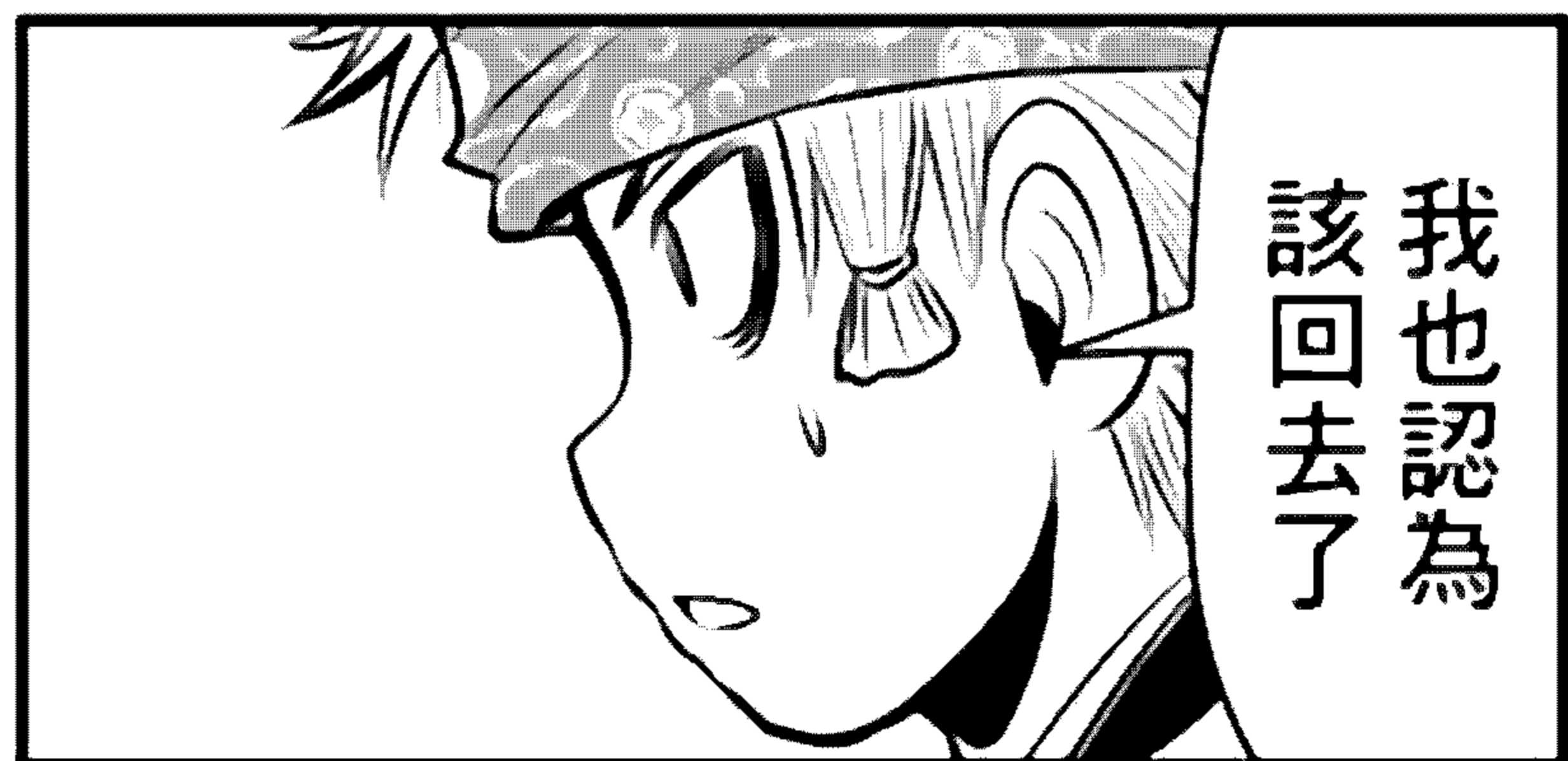


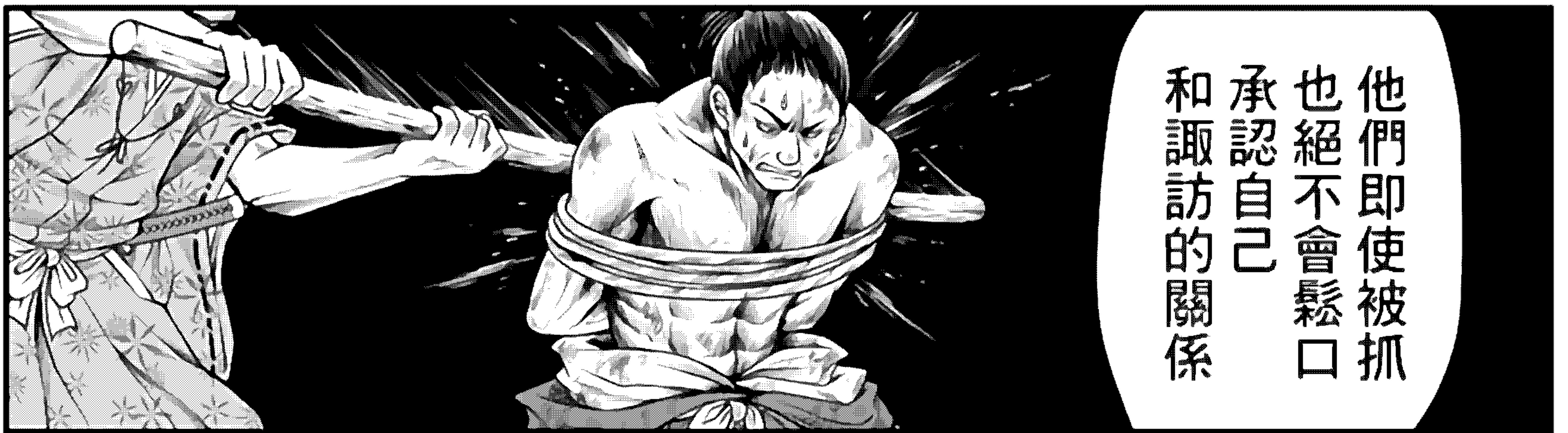
……
回去……？

離諏訪
越遠

被捲入
戰爭的人
越多

我的
預知準度
就越低





他們即使被抓
也絕不會鬆口
承認自己
和諏訪的關係



這不是為了
保住我的性命

而是
他們相信

諏訪明神
一定會……

代表
窮困潦倒的
信濃子民
站起來

嵌字 澤澤 @



您的性命
關乎幕府的
復興

眼下沒理由
非得冒險

你真的
不明白嗎!?



因此擁有
強大的覺悟

但沒必要讓您
也做到這個地步



你同樣背負著
沉重的宿命……

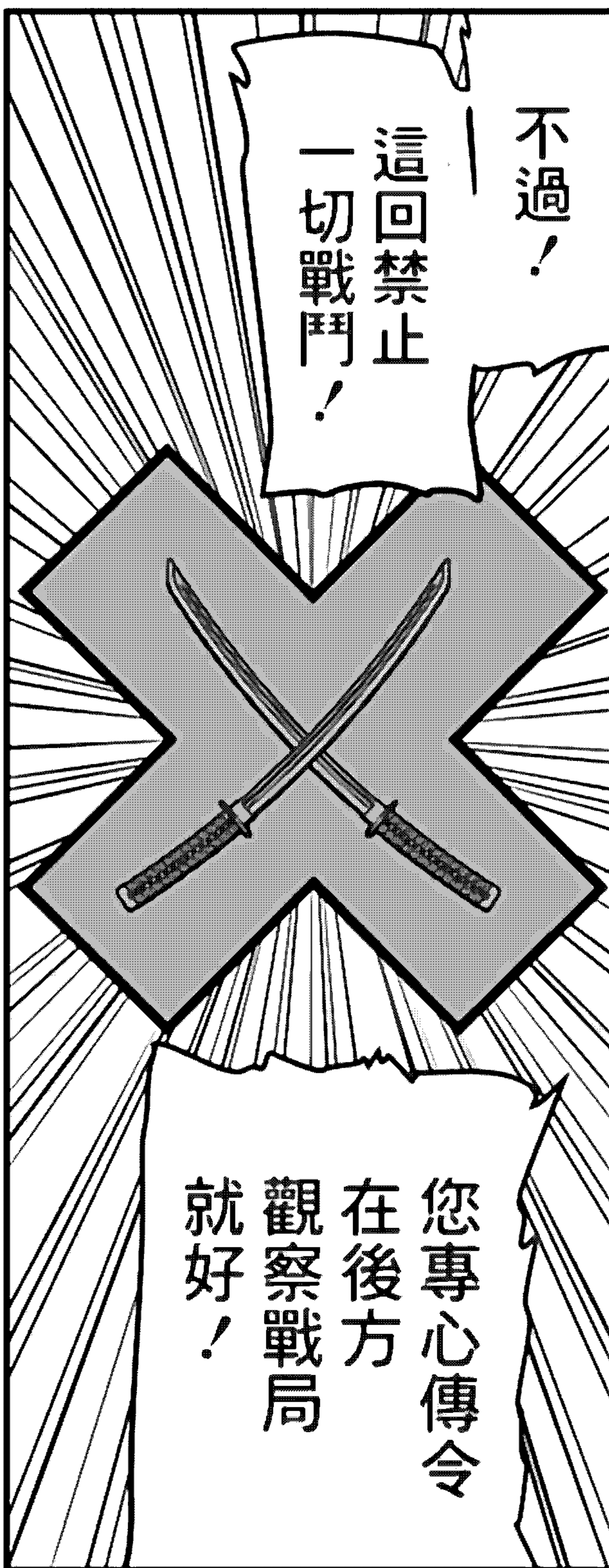
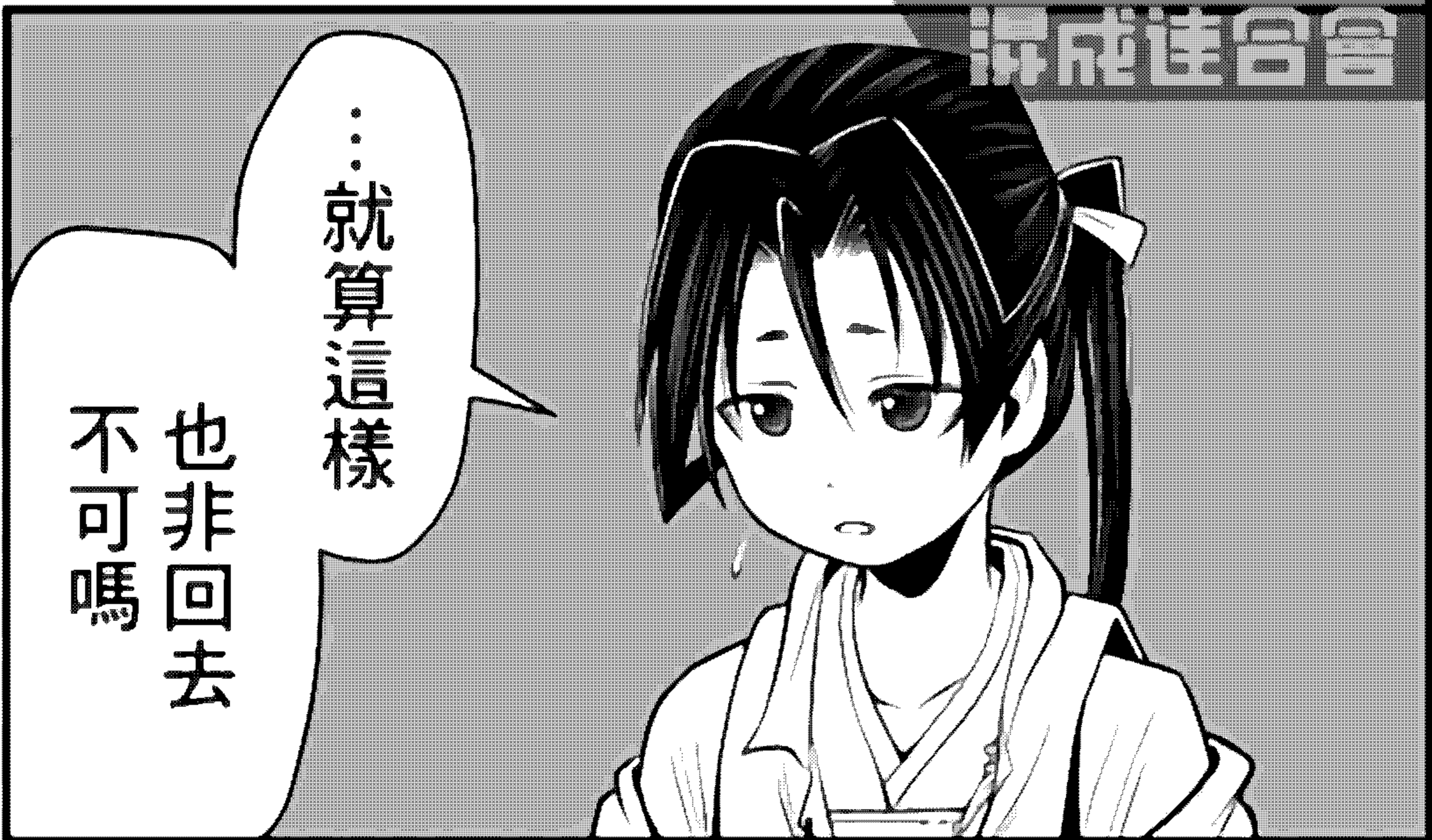
我卻一味
予取予求
無法回饋你！

替信任你的
眾多夥伴傳令

令我意識到
這樣最能
回報你的恩情……

……我很開心啊







是



和諏訪大社の
百騎精銳
一同前往
「中部」戰場吧

這下雙方
在「中部」戰場就
完全勢均力敵了

切記察覺到
任何一點危險
都要逃命！

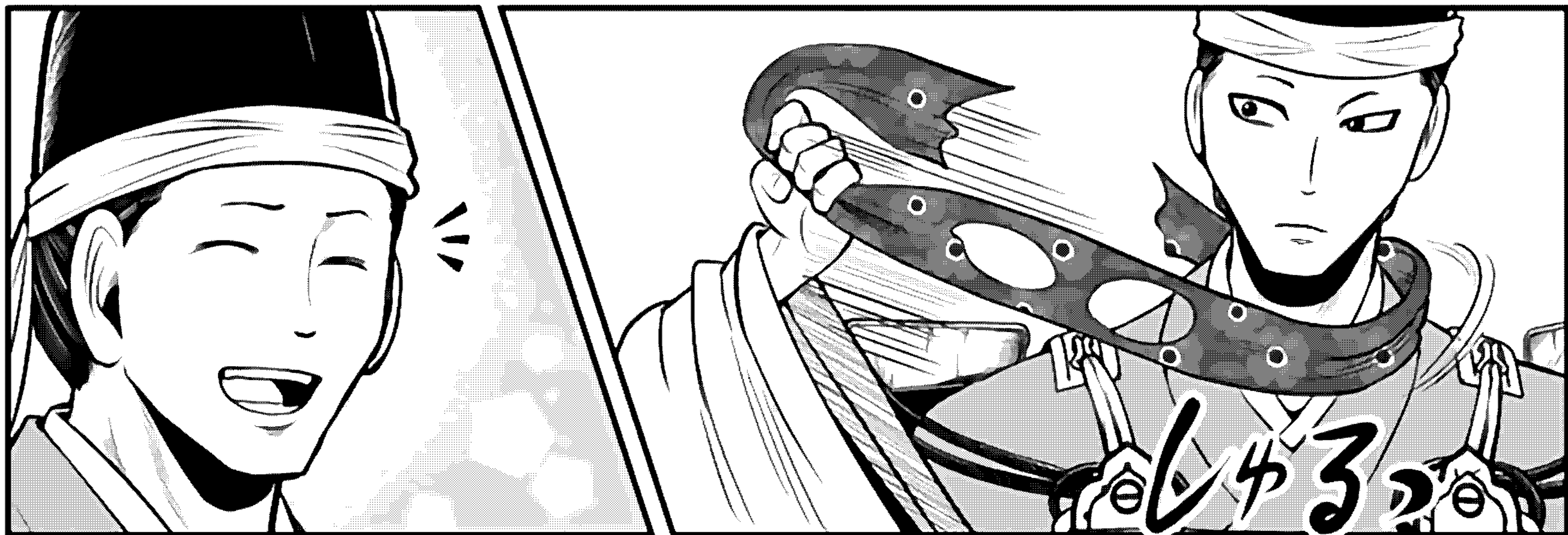


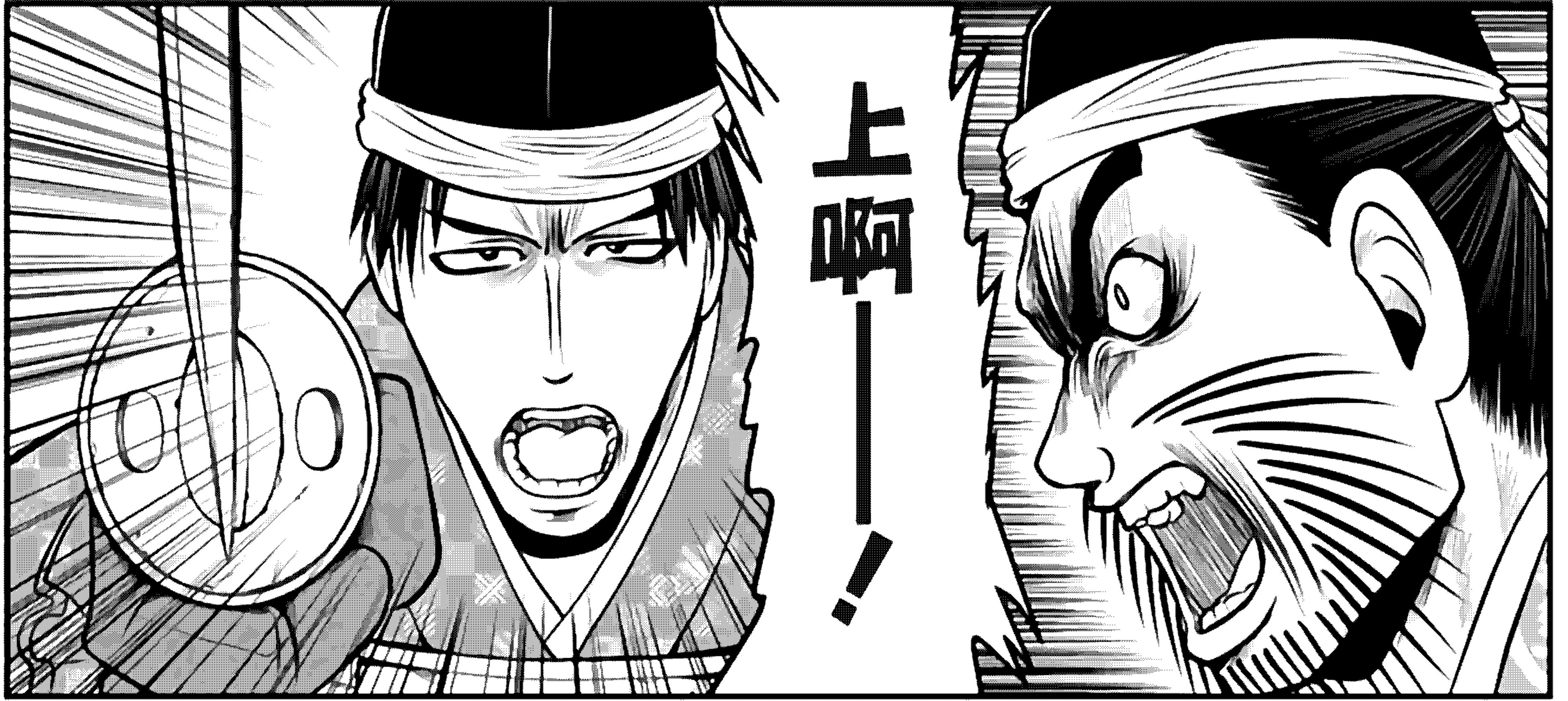
感激不盡
賴重殿下！

我出發了！



ドドド...







望月軍
正不厭其煩地
從後方襲擊市河！



今天一整天
都能拖住他！



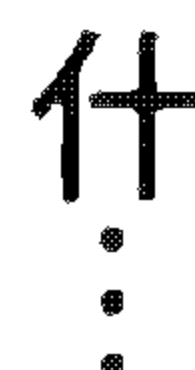
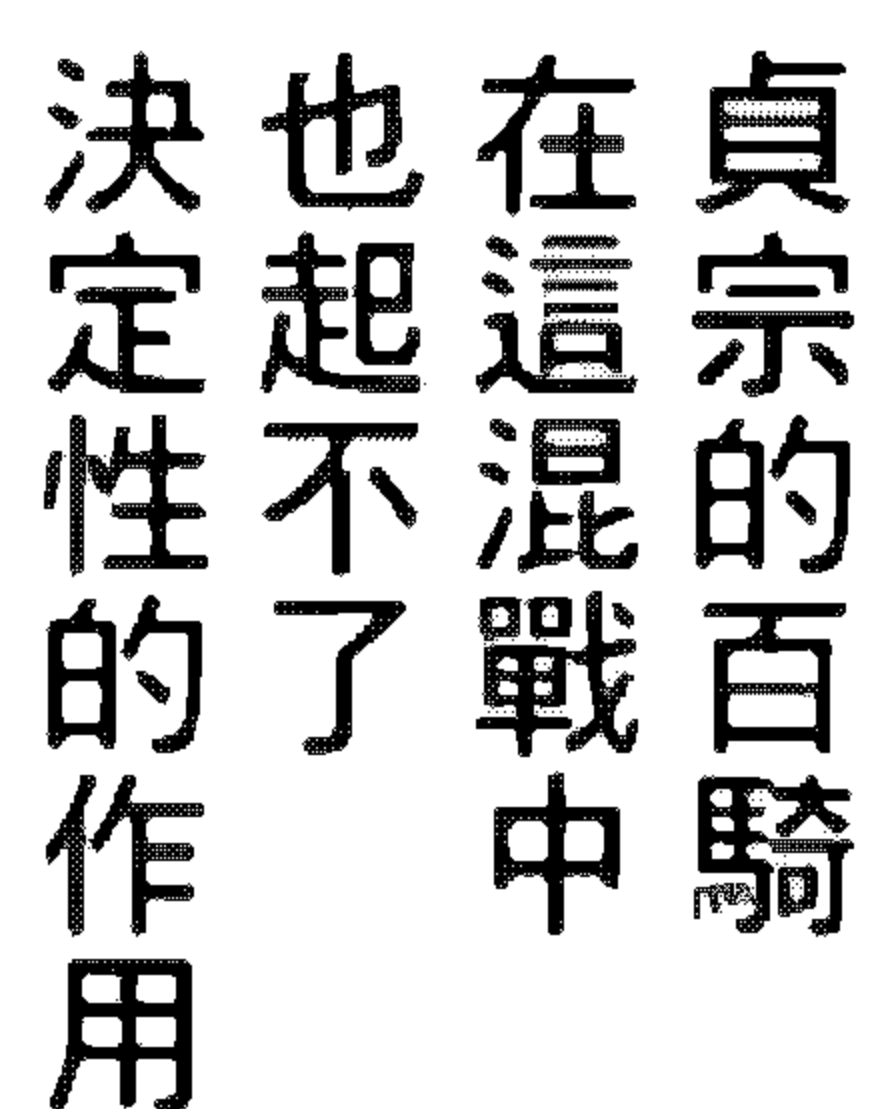
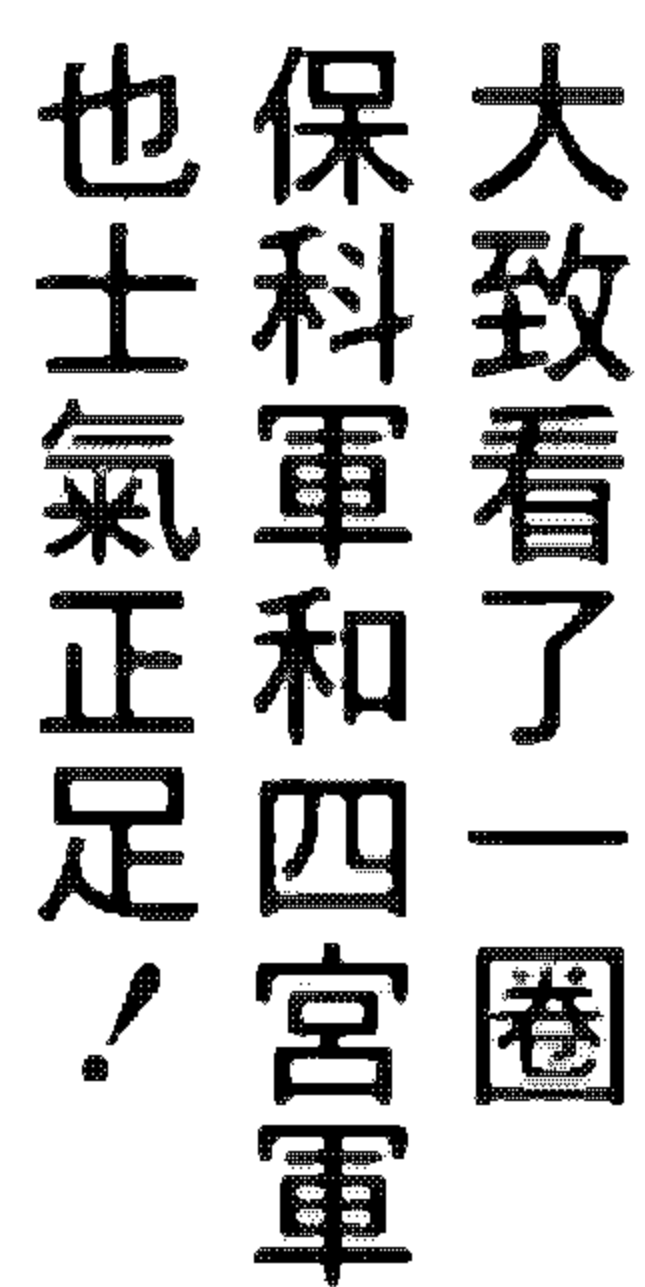
去和父親
一起打一仗！



照御使
大人的報告
保科也占優勢
今天就一口氣
收拾殘敵吧！



很好
這下就能
集中精力在
「中部」戰場了





那是
什麼！

監製 三十二 @



☆高貴扭曲的目光
自與中向外翻視

看我不給你們
夷為平地

逆賊



少主溜得快

第41話
... 本話完

解説上手の若君

前回で掲載した諏訪大社の起源について引き続き解説します。神話と歴史の関係を調べてみると多くの発見があるかも…!!

第2回、深掘り! 諏訪探究帖



続・諏訪大社はどのような起源を持っているの?

前回は、タケミナカタという神様が天孫に逆らって負け、諏訪に引きこもったという神話を紹介しました。これは奈良時代初期にできた「古事記」に出てくるお話です。ところで、神話や伝説を理解するために大切なことってなんでしょう? お話の内容がホントかどうか? 違います。時代背景? それも二の次です。大事なものは「いつ」「誰が」「なぜ」「そういう話をしたのか」です。つまり、奈良時代の始めに、ヤマト王権が「諏訪の神様はヤマ

歴史ある諏訪に興味を持たれたか?

解説を説明ぼ

さらなる知識を得る励みになるだろう

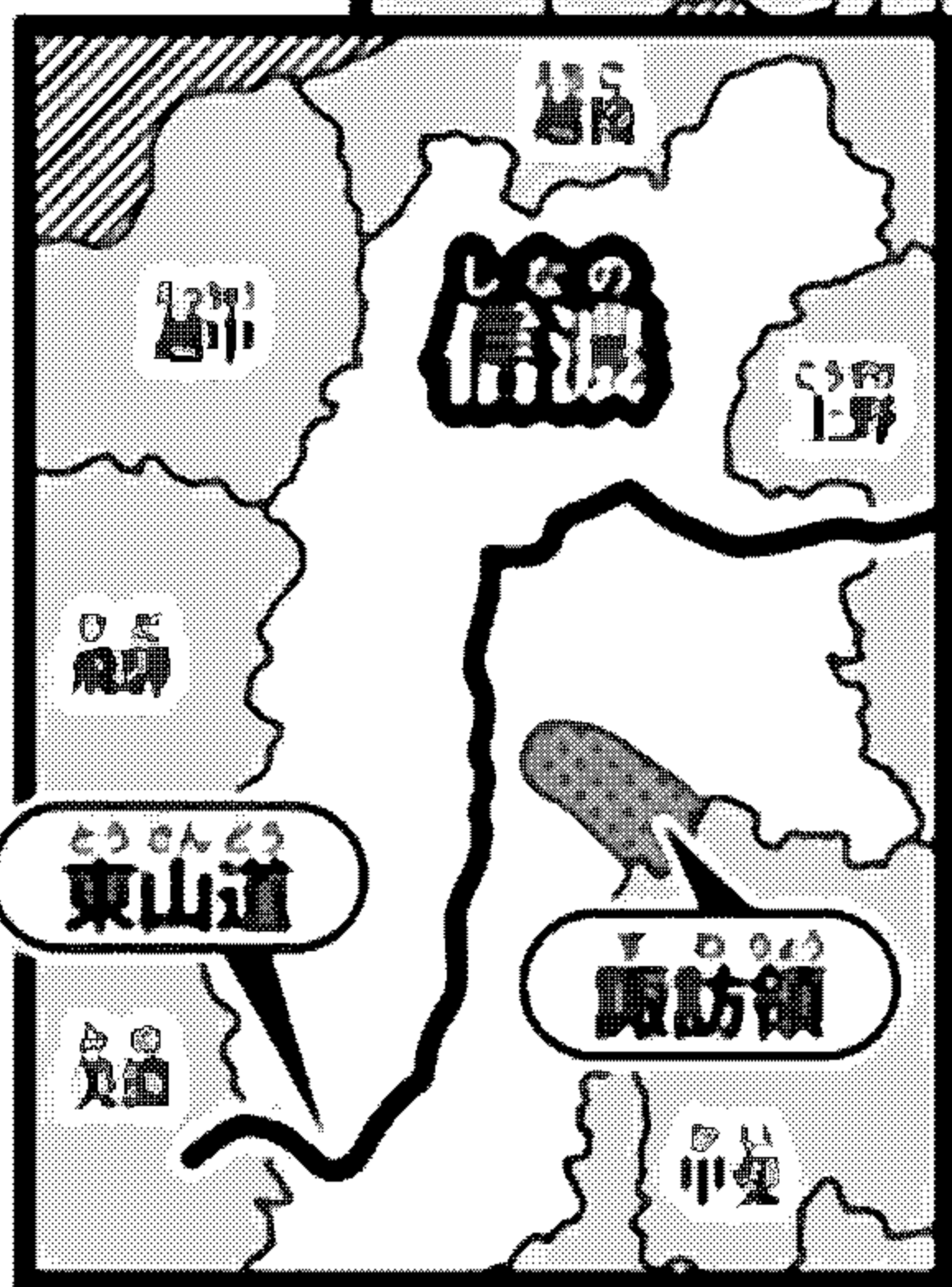
は、

おつよりなお 称津頼直

都と東北を結ぶ東山道

近江、美濃、飛騨、信濃、上野、下野、陸奥、出羽の諸国を通る東山道。主に役人や物資の移動に使われていた。

▲実際に整備された東山道は諏訪を通っていない。さらに古い経路は諏訪を通るものもあったようだ。



石壁三千穂

ファミコン黎明期から00年代までコンピュータゲーム関連のライターとして活動。諏訪へ帰郷後は信濃史、民俗学の研究に没頭中。

ト側に負けて逃げました。もう諏訪から出てはいけません」と発表されました。「なぜ」についてはわかりませんが、こう書くともう神話ではないですね。そう、まさにこれが歴史なんです。ところで、奈良時代には東山道という道がありました。滋賀県から始まり、岐阜県、長野県、群馬県、栃木県と抜けて東北へ至る内陸の幹線道路です。諏訪は長野県の真ん中にある開けた土地ですから、当然通っているはず。でもなぜか、整備された東山道のルートには入っていません。また、「古事記」のあとにできたとされる歴史書が「日本書紀」ですが、こちらの神話部分にはなぜかタケミナカタの話が出てきません。しかもそのあとに諏訪が流刑地に定められます。なんだか…避けられてる? 腫れ物に触るような扱い? とにかく、ヤマト王権にとってやっかいで、面倒くさく、隔離しておきたいような神様地域だったのでしょうか。…なんだか頼重みたい? それはそうです。頼重自身、諏訪の神様なんですから。

卷末語

為了保持嘗鮮的心情
只有正月
才會吃鹽漬鰯魚子。
都快有戒斷反應了：

順位 11 / 20
W J 2 0 2 1 N O 52

少主溜得快
第41話

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

澤澤
樹懶

監製

三十二

壽丸滾滾漢化

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051